

図書館だより

今月の新刊を紹介します。

問 タルイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745

開館時間：午前10時～午後6時

休館日：5/7(水)・12(月)・19(月)・26(月)・29(木)

あのねあのね

(内田麟太郎、303 B00KS)



親切にしてくれたアリさんにお礼を言えず、もじもじしてしまったダンゴムシたち。でもやさしい春風が吹いて、みんなの心や言葉の窓が開き…。気持ちを伝えるのが苦手な子どもたちに贈る絵本。

白い虹を投げる

(吉野万理子、Gakken)



同じ野球チームでがんばっていた、ヤヤと葉央。ふたりはメールを送り、たがいに励まし合う。「キャッチボールクラシック」という大会を知り、そこで再会することを誓うが…。少年・少女の友情ストーリー。

ゼロから始める自分史レシピ 新しい気づきへの旅

(奥井健二、かもがわ出版)



シニア層で静かなブームになっている「自分史」。朝日新聞社で「朝日自分史」のスタッフとして約30冊を作りあげてきた著者が、自分史の作り方の一例として、「朝日自分史」時代に培ったノウハウや工夫したやり方を紹介する。

ブレイクショットの軌跡

(逢坂冬馬、早川書房)



自動車期間工の本田昴は、2年11カ月の寮生活を終えようとしていた。最終日、同僚がSUVブレイクショットのボルトをひとつ車体の内部に落とすのを目撃する。見過ごせば明日からは自由の身だが…。

お知らせ

- ▶テーマ展示「大人も楽しもう！グリム・イソップ・アンデルセン」「ぼうけん・たんけんのお話」
- ▶絵本のよみきかせ会 毎週土曜日 午後2時から
- ▶としょかんスタンプラリー ～7/27(日)
- ▶図書館利用の際には、マイバッグをお持ちください。
- ▶読みたい本が図書館にない場合は、リクエストサービスが利用できます。

利用者数と貸出冊数

R7. 3月	入館者数	6,384人
	貸出冊数	13,503冊

紹介文：TRC MARC

歴史探訪

栗原・大平古墳群の
発掘から六〇年！

栗原・大平古墳群は、今から約六〇年前の昭和七年（一九六二）に、名神高速道路を建設するための工事の原因でなくなりました。工事にもない、当時の名古屋大学と岐阜県教育委員会により、発掘調査が実施され、貴重な資料が現在まで残されています。これらの資料から、この遺跡が今から約一八〇〇年前の弥生時代後期から約一三〇〇年前の古墳時代終末期までの遺跡であることが分かりました。

出土した土器は、弥生時代終末期（三世紀）のものが多く、この頃から人々が集住し、共同墓地が設けられたと考えられます。古墳時代中頃（五～六世紀）になると造り出し付き円墳という首長層の古墳が築かれ、七世紀には二〇基以上におよぶ横穴式石室がつくられていたことが分かりました。

今回、昭和の時代の発掘調査で残されていた図面や土器を分析し、判明した新たな垂井の歴史について、タルイピアセンターのロビーで展示しています。当時の発掘調査記録から歴史を読み解いた成果について、ぜひご覧ください。



『垂井町史』通史編・史料編

タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館で販売中 各4,000円